

65周年委員会 基本方針

65周年委員会 委員長 菱岡 英貴

一般社団法人佐賀青年会議所は、1956年に七田久夫先輩をはじめとする43名より始まり、本年65周年を迎えます。創立以来、それぞれの時代に合った運動を展開し地域社会に数多くの功績を残されてきた諸先輩に感謝するとともに、今まで紡いでこられた想いや精神を我々メンバーはしっかりと受け止め、今後も地域が発展する活動を行い次代へつないでいく必要があります。

まずは、長年に亘りご協力頂いております諸先輩・諸団体・他LOMの方々に今後の我々の指針を示すために、これまでの歴史を振り返りながら感謝を伝える周年式典を開催することで、入会歴の浅いメンバーにも諸先輩の功績を伝え理解を深め、来賓の方々との信頼関係を構築します。そして、これからも地域の皆様とのパートナーシップを構築するために、時代に沿った提言を発信することで、今後5年間のビジョンをメンバー間で共有し意識の醸成を高めます。さらに、希薄となっている諸先輩や来賓の方々との関係をより強固にしていくために、交流を交えた祝賀会を企画・運営し親睦を深めることで、今まで紡いでこられた伝統や奉仕活動を学び、協力関係を構築します。また、後世の佐賀青年会議所メンバーが「修練」「奉仕」「友情」この三信条を胸に活動していくために、記念誌に我々の想いとこれまでの活動の歴史を残し、次の70周年ひいては100周年へと繋がる未来へ向けて、この志と伝統や歴史を継承しながら「時代の開拓者」となるべく挑戦し続けます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により我々の生活は大きく変化しました。ニューノーマル時代に沿った式典の中で、65年の歴史を振り返り、地域のリーダーとして色々な社会情勢に柔軟に対応しながら地域社会に貢献し、諸先輩や地域の方々と共に皆が手を取りあい唯一無二の佐賀を創造し、現在（いま）を生き抜き次代へつないで参ります。

[事業計画]

1. 65周年記念式典・祝賀会の企画・運営（9月）
2. 65周年記念誌の企画・発刊
3. 新年会の企画・運営（1月）
4. 例会の企画・運営（6月・9月）
5. 薩長土肥 参加者への支援（11月）
6. 会員拡大 拡大目標 委員会5名（通年）